



Network Japan

持続可能な世界実現のためのお役立ちシリーズ

# CSR調達研修用 ツール・セット(講義&ゲーム)

2020年1月30日

一般社団法人 グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン  
サプライチェーン分科会 (2019年度)

# 目次

はじめに	4
1. CSR調達研修の目的	5
1.1 対象者	5
1.2 到達イメージ	5
1.3 各資料とゲームの目的・狙い（概要）	5
1.3.1 講義資料	5
1.3.2 Game of Choice	5
1.4 ファシリテーターの期待役割	5
2. CSR調達研修を開催するまでの準備及び当日の運営	6
2.1 準備スケジュールの例	6
2.1.1 プログラムの確認	6
2.1.2 担当者の選任と役割分担	6
2.1.3 講義資料・ゲームツールの準備	7
2.1.4 CSR調達研修 企画・運営マニュアル	7
2.1.5 会場手配	7
2.1.6 イベント告知（申込受付、参加者リスト作成）	7
2.1.7 担当者による事前体験（ゲーム）	7
2.1.8 当日の役割と準備物の確認	8
2.1.9 司会用原稿の作成	8
2.1.10 挨拶文の作成	8
2.1.11 アンケートの作成	8
3. パッケージの内容	9
3.1 入門書	9
3.2 講義資料	9
3.3 Game of Choice	9
本分科会 参加企業・団体一覧（2014年度～2019年度）	11

- 添付資料 1 準備スケジュール例
- 添付資料 2 講義資料「CSR調達入門 - サプライチェーンへのCSR浸透 -」
- 添付資料 3 CSR調達研修 企画・運営マニュアル
- 添付資料 4 イベント告知
- 添付資料 5 参加者リスト
- 添付資料 6 司会用原稿
- 添付資料 7 挨拶文の雛形
- 添付資料 8 研修参加者へのアンケート
- 添付資料 9 Game of Choice 説明用資料
- 添付資料 10 Game of Choice Supply Chain Diagram
- 添付資料 11 Game of Choice 役割カードと事件カード、役割決定あみだくじ
- 添付資料 12 Game of Choice 事件事例（テーブル掲示用）
- 添付資料 13 Game of Choice 講師&ファシリテーター用心得
- 添付資料 14 Game of Choice ファシリテーター用メモ

#### 参考動画

- Game of Choice 趣旨・概要説明 所用時間：約12分
- Game of Choice 実施風景 所用時間：約4分

## はじめに

グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン（以下、GCNJ）のサプライチェーン分科会（以下、本分科会）では、2008年にGCNJ参加企業の中から11社が集まり結成され、2013年に「サプライチェーンにおける望ましいCSR活動のあり方 — サプライチェーン分科会からの提案 —」（以下、提言書）を発行してきました。

（参照: <http://www.ungcjin.org/activities/topics/detail.php?id=99>）

その後、サプライチェーンにおけるCSR調達の重要性を理解頂き、取組みへの共感を得るための一助とするための手引書として、2016年に「CSR調達入門書 — サプライチェーンへのCSR浸透 —」（第2版を2018年に発行）（以下、入門書）として、まとめてきました。

（参照: <http://www.ungcjin.org/activities/topics/detail.php?id=270>）

CSR調達に関する理解を深めてもらうための詳細な内容は、上記2つの提言書・CSR調達入門書で述べておりますので、詳細な内容は、本書では割愛する事として、本書では、本分科会において企画・制作した“CSR調達研修”の内容説明を意図して発行する事としました。

本分科会においては、CSR調達の重要性を啓発することを目的に、2018年11月に、GCNJ会員企業向けにワークショップを開催しました。このワークショップでは、CSR調達の大切さと難しさを、講義資料による座学と、CSR調達の実務において直面する可能性のある状況について、ゲーム形式で体験できるように構成しています。

本書では、そのノウハウや資料を分かりやすくまとめ、CSR調達研修の主催を考えている法人企業・団体等のご担当者に活用していただくことを意図しております。

具体的に本書は、以下の内容より構成されています。

- CSR調達研修の目的
- CSR調達研修開催までの準備及び当日の運営
- パッケージの内容
  - ・ 講義資料(入門書を配布資料として使用)
  - ・ ゲームツール(Game of Choice)

本書により、本分科会で制作した、CSR調達に関する講義資料の内容や、体験ゲームの内容への認知が広がり、活用が進むことを期待しております。その結果、CSR調達の重要性への認識が、より広く社会全体に浸透されていくことを願っています。

### CSR調達とは

CSRとはCorporate Social Responsibilityと訳され、一般的に「企業の社会的責任」を意味します。

CSR調達とは「バイヤー（企業）が製品、資材及び原料などを調達するにあたり、品質、性能、価格および納期といった従来からの項目に、環境、労働環境、人権などへの対応状況の観点から要求項目を追加することで、サプライチェーン全体で社会的責任を果たそうとする活動」と定義しています。つまり、これまで企業は様々な製品又はサービスを社会に提供し、その対価を得て利益を追求してきましたが、今後は利益だけでなく社会的責任ある取引を実践していくと同時に、サプライチェーン全体における取引先に対しても、CSR調達の考え方を理解してもらい実践してもらうことにより、社会全体で持続可能に発展していくことがCSR調達の本質と言えます。

# 1. CSR調達研修の目的

## 1.1 対象者

本書におけるCSR調達研修では、CSR推進者をはじめ、調達責任者や調達担当者の各レベルの方々を想定する中で、以下の対象者を想定しています。

対象者	目的	狙い
調達担当者	自社の調達部署内や 社外と同レベル担当者の教育用	担当者啓蒙、実務ノウハウ

## 1.2 到達イメージ

本書における研修を受講することで、調達担当者がCSR調達の意義、重要性、課題について理解し、実務におけるCSR調達推進の必要性を認識し、責任のある調達の実行計画の作成に着手できる様になる、そういった到達イメージを、本書では想定しています。

## 1.3 各資料とゲームの目的・狙い(概要)

### 1.3.1 講義資料

入門書をベースに作成されたプレゼンテーション用スライドです。「CSR調達とは何か」、「CSR調達における課題とは何か」、「CSR調達に取り組むメリット」といったCSR調達に関する基礎知識に加えて、サプライチェーンにおける社会・環境リスク、社会から糾弾を浴びることや児童労働などの人権侵害が企業業績に与える影響の事例を含んだCSR調達が企業経営に与える影響について理解するための資料です。本分科会で提唱するCSR調達の概要をつかみ、CSR調達の必要性を実感することを目的・狙いとしております。

### 1.3.2 Game of Choice

サプライチェーンにおける社会・環境リスクを把握し、そして、様々なステークホルダーの価値観や倫理観に気づく体験により、CSR調達の重要性を理解することを目的・狙いとしております。

## 1.4 ファシリテーターの期待役割

1.3.2項のゲームでは、運営側としてファシリテーターを配置することとしており、中立的な立場から受講者のゲーム体験の活動を支援します。以下の役割がファシリテーターには期待されています。

- CSR調達とは何か、に加えてその意義、重要性、課題について理解し、それを受講者にわかりやすく伝える。
- ゲームの目的と内容を理解し、ゲームを推進できる。

## 2. CSR調達研修を開催するまでの準備及び当日の運営

本項では、CSR調達研修を開催するまでの準備及び当日の運営について説明しています。

準備スケジュールの例を2.1項に用意しました。また、準備作業の各アクティビティの作業内容の詳細は、2.1.1項以降に示しています。3項では、研修で使用する資料・動画ならびにゲームツールの概要について説明しています。それと同時に、ゲームの実施において、動画を含めて、参加者に対するファシリテーターのノウハウを理解できるものとして構成しています。

### 2.1 準備スケジュールの例

CSR調達研修を開催するまでのスケジュールの概要をつかむため、スケジュール表を添付資料1に示しています。このスケジュール表では、想定される作業量や順序の作業性にもとづき、スケジュールを組んでいますが、時間軸の単位については表記していません。2.1.1項に示した3つの資料の内容を確認することで作業量と準備期間を見積もってください。標準的な準備期間は、2週間～1ヶ月です。

また、本スケジュール表では、担当者を以下の5つの役割に分類しています。この中のうち、統括者は、最高責任者とお考えください。なお、研修参加者数を約30名、担当者数を約10名と想定しておりますが、研修参加者規模を増減させたい場合は、それに応じて担当者数の変更をお考えください。

- 統括者
- 運営チームリーダー
- ゲームチームリーダー
- 運営チームメンバー
- ゲームチームメンバー

#### 2.1.1 プログラムの確認

最初のアクティビティである本項は、統括者自らが行き、担当者を招集して役割を決める前に、研修の全体像をつかむために使用します。本研修で扱う資料は以下の3つであり、目的・狙いは1.3項で述べたとおりです。詳細内容については、以下に示す項目や添付資料で説明しています。

- 入門書 → 本資料の3.1項
- 講義資料 → 本資料の3.2項および添付資料2  
スライド数、想定講義時間:20枚、45分程度
- Game of Choice → 本資料の3.3項および添付資料9  
想定ゲーム時間:60分程度

#### 2.1.2 担当者の選任と役割分担

2.1.1項で、統括者は全体像をつかんだら、担当者を招集し、本研修のプログラム内容の概要を伝えます。招集会議では、以下の各担当者の役割を説明して分担を行います。2.1項で述べたとおり、本パッケージでは、標準的な担当者の数は、10名程度です。

##### ■ 運営チームリーダー(1名)

研修の運営面でのリーダーであり、研修全体の司会進行や講義資料のプレゼンテーションを担当する役割もあります。場合によっては、統括者が兼任で行うことも可能です。

##### ■ ゲームチームリーダー(1名)

ゲーム実施のリーダーであり、ゲームの運営をリードする役割を持ちます。



#### ■ 運営チームメンバー(5名程度)

研修の運営面での活動を行う。会場や備品等の準備を行う役割も持ちます。ゲーム実施時には、ゲームチームメンバーと共にファシリテーターとして活動する場合があります。

#### ■ ゲームチームメンバー(5名程度)

研修のゲーム面での活動を行う。ゲームツールなどの実施のための準備を行う役割も持ちます。特にゲーム実施時には、ゲームの各参加者グループのテーブルに席を移し、ゲームの直接的な助言をするファシリテーターとして活動します。

### 2.1.3 講義資料・ゲームツールの準備

役割分担が完了したら、準備期間の日数にもよりますが、本項と2.1.4項、2.1.5項を同時に開始することができます。本項では、講義資料・ゲームツールの準備について説明します。

#### ■ 講義資料の準備

研修当日の講義は、(統括者もしくは)運営チームリーダーが発表することになりますので、添付資料2および3.2項を確認して、講義内容や流れを理解します。(統括者もしくは)運営チームリーダーは、2.1.4項、2.1.5項の他のアクティビティも、同時に開始することができますので、講義資料の発表練習は、研修日が近づいてきたら実施するように、2.1項の準備スケジュールの例(添付資料1)では設定しています。

#### ■ ゲームツールの準備

役割分担でゲームチームリーダーおよびメンバーになった担当者は、研修で実施するゲームの内容を3.3項で理解します。また、2項で述べた通り、ゲームで使うツールの作成方法の説明も3.3項で用意しています。

### 2.1.4 CSR調達研修 企画・運営マニュアル

本パッケージでは、企画・運営マニュアルの雛形を添付資料3に用意しています。統括者と運営チームの担当者は、この雛形を利用することで、準備工程の全体の流れを理解し、研修当日までの準備を効果的に進めます。実際に準備に取りかかる際は、統括者と運営チームで協議した後、適宜、改訂編集していくとよいでしょう。

### 2.1.5 会場手配

2.1.6項で研修参加者を募りますが、その前に、会場の規模を確定する必要があります。本パッケージで想定する参加者は30名程度であり、添付資料3の企画・運営マニュアルP.12に標準的な会場レイアウトを示しています。会場の規模は、このレイアウトを参考に選定します。

### 2.1.6 イベント告知(申込受付、参加者リスト作成)

会場の手配が2.1.5項で完了することができたら、研修参加者の募集(イベント告知)の準備に取りかかることができます。イベント告知は、添付資料4を募集に活用するものとして添付しています。適宜、改訂の上、イベント告知にご利用ください。また、添付資料5の参加者リストに申込者を記入しておくことで、研修当日の申込受付用のリストとして活用することができます。

### 2.1.7 担当者による事前体験(ゲーム)

2.1.3項でゲームツールの作成が完了したら、研修当日が近づいてきた時期を見計らい、何度か担当者でゲームの事前体験を実施してみてください。

事前体験を通じてお互い反省点を確認することで、研修開催に向けて、あらたな気づきが得られます。これらの気づきを活用することで、参加者へのファシリテーターとしての役割を、より効果的に発揮できるようになります。また、1.4項、3.3項には、ファシリテーターとして期待される役割や、注意事項等のガイドを記載しています。この事前体験の際に、このガイドをもう一度確認されるとよいと思います。研修当日では、運営チームメンバーも、場合

によってはゲームチームのファシリテーターとしての役割が求められる場合が想定されます。したがって、ゲームの事前体験では、運営チームも一緒になって体験しておくといでしょう。

### 2.1.8 当日の役割と準備物の確認

2.1.4項により編集した添付資料3の企画・運営マニュアルを使用して、当日の役割と準備物の確認を行います。P.6の「★当日の準備物」の欄にも示してありますが、この企画・運営マニュアルを研修中に適宜確認することができるよう、各ファシリテーターは、研修中、このマニュアルを所持しておくことを推奨します。

### 2.1.9 司会用原稿の作成

運営チームリーダーは、添付資料3の企画・運営マニュアルP.8イベント進行マニュアルにあるように、司会を担当し、開会宣言と当日の諸確認や当日のプログラムの進行役を行います。添付資料6に、司会用原稿を用意しています。原稿内容は、社外での開催を想定して作成していますので、社内で開催する場合や、個別の場合に応じて、編集してご使用ください。

### 2.1.10 挨拶文の作成

添付資料6の司会用原稿にあるように、司会による研修の開会宣言の後に、統括者は最高責任者としての挨拶を行う場合のために、添付資料7に挨拶文の雛形を用意しています。個別の場合に応じて、適宜編集してご使用ください。

### 2.1.11 アンケートの作成

添付資料3の企画・運営マニュアルや、添付資料6の司会用原稿にあるように、本パッケージでは、研修終了時に、参加者へのアンケートを実施することを想定しています。添付資料8は、社外で研修を実施することを想定したアンケートの雛形ですので、個別の場合に応じて、適宜編集してご使用ください。



## 3. パッケージの内容

本項では、2項で説明したように、以下の講義資料やゲームツールの内容や使い方を示しています。2.1.1項(プログラムの確認)、2.1.3項(準備)、2.1.7項(事前体験)の各アクティビティを進めていく際にも、適宜、本項の内容をご覧ください。

- 入門書
- 講義資料
- Game of Choice

参加者は、「講義」によってCSR調達の基本を学び、「ゲーム」によって、その大切さと難しさを体感できます。各資料・ツールの目的・狙いは、1.3項に記載の通りであり、各資料の詳細説明は、以下の通りです。

### 3.1 入門書

研修の講義の際に、参加者への配布資料として使用します。

1.3項で述べた通り、3.2項の講義資料のベースとなっている資料です。

### 3.2 講義資料(プレゼン資料)

講義資料の特徴は以下の通りです。(講義資料:添付資料2)

- 講義しやすいように、ノート欄に口頭説明シナリオを用意しています。ノート欄も含めて、一読することで理解が深まります。発表時には、ノート欄の内容をご活用ください。
- 講義資料の各ページの右上に、「CSR調達入門書」の中で該当する部分の参照ページを記載していますので、講義資料と入門書の対応関係を確認することができます。
- 問題となった具体的な事例を説明すると参加者に響きやすいと考え、入門書にはない事例を講義資料のスライドP10～P.17に記載しています。
- 講義資料スライドでは、一部アニメーションを使用しています。講義の流れを考慮して、設定していますので、講義の練習の際に、スムーズに講義ができるように(再設定も含めて)確認してください。

### 3.3 Game of Choice

Game of Choiceのツールの構成は次頁の通りです。また、本パッケージでは、Game of Choiceを体験している様子を動画でまとめましたので、ご覧の上、ゲームの雰囲気をつかむのに活用してください。

Game of Choice 趣旨・概要説明 所用時間：約12分

Game of Choice 実施風景 所用時間：約4分

#### ■ Game of Choice 説明用資料(添付資料9)

ゲームチームリーダーが、会場前方の大型ディスプレイにこの説明用資料を映しだして、各テーブルに1名ずつ配置されたファシリテーターと連携を取りながら、ゲームが円滑に進行するように、ゲーム進行役講師として使用する資料です。P.12までは、Game of ChoiceのCSR活動、CSR調達、サプライチェーンのリスク&影響、Game of Choiceとは、の全般的な説明用のスライドと、Game of Choiceの進め方を一連の流れで説明するスライドで構成されています。以下のスライドでは、講師の説明にあわせて、各テーブルのファシリテーターが参加者に添付資料を用いて直接説明していきます。また、各テーブルのファシリテーターは、添付資料13に心得事項を用意しましたので、P.13以降のゲーム実施中は、それを基にファシリテーターとしての役割を発揮してください。

P.6 キャラクター設定 : 添付資料11の役割決定あみだくじを使用します。

キャラクター設定後、添付資料11の役割カードをキャラクター毎に渡します。

P.14 事件発表 : 添付資料11の事件カードと、添付資料12を使用します。

説明用スライドのP.19～P.24は、実際には投影しないファシリテーター用のスライドです。ファシリテーター用時間管理イメージや、ファシリテーターの心得が示されているので、準備段階で十分確認しておくといでしょう。

#### ■ Game of Choice Supply Chain Diagram(添付資料10)

A4用紙4枚分のポスターサイズで印刷して、各テーブルの中央付近に広げて置いておきます。企業や各ステークホルダー役の参加者が、事件への対応や企業の行動への対応としての行動を選定・発表する時に、役割カードをこのSupply Chain Diagramに貼り付けることで、自らの行動を他の参加者に知らせるために使います。

#### ■ Game of Choice 役割カードと事件カード、役割決定あみだくじ(添付資料11)

添付資料11は、各ステークホルダー役の参加者に渡す役割カード(8種)と、事件発生時にファシリテーターが夫々のテーブルで提示するための事件カード(2種)を作成するための資料です。事件カードは、2種類(事件①、②)ありますが、事件②は予備事例として用意しているもので、説明用スライドに映し出される事件は、事件①の事例です。添付資料11の最終ページに、カード印刷時の設定と注意事項の説明がありますので、注意の上、印刷をしてください。印刷したままの紙の状態での使用でも十分ですが、カードを入れるプラスチックの透明なケースが用意できれば、ツールとして使いやすくなります。

添付資料11は、参加者の役割決定のために使用する役割決定あみだくじも用意しています。説明用スライドP.6では、各ファシリテーターは参加者に使い方を示すことになります。勿論、あみだくじで決定しなくとも、参加者の希望を優先する方法でも構いません。

#### ■ Game of Choice 事件事例(テーブル掲示用)(添付資料12)

添付資料12は、説明用スライドP.14の事件発表の際に参加者に示すためのテーブル掲示用の事件①の事件事例です。

#### ■ Game of Choice 講師&ファシリテーター用心得(添付資料13)

添付資料13は、講師とファシリテーターのGame of Choiceを実施する際の心得をまとめています。

#### ■ Game of Choice ファシリテーター用メモ(添付資料14)

添付資料14は、ゲーム中に各テーブルのファシリテーターがメモを取る為の用紙です。

一般社団法人 グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン

本分科会 参加企業・団体一覧（2014～2019年度）

<参加企業（五十音順）>

味の素株式会社	JSR株式会社
アステラス製薬株式会社	株式会社ジーエス・ユアサコーポレーション
アンリツ株式会社	シスメックス株式会社
イオン株式会社	株式会社資生堂
出光興産株式会社	シチズン時計株式会社
伊藤忠商事株式会社	信越化学工業株式会社
株式会社イトーキ	住友化学株式会社
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社	住友商事株式会社
ウシオ電機株式会社	住友理工株式会社
株式会社エコロジープラス	住友林業株式会社
エーザイ株式会社	セイコーエプソン株式会社
NPO 法人 ACE	セガサミーホールディングス株式会社
株式会社 Energetic-Green	積水ハウス株式会社
株式会社 NTTドコモ	双日株式会社
大阪ガス株式会社	第一三共株式会社
大塚ホールディングス株式会社	ダイキン工業株式会社
株式会社大林組	大日本印刷株式会社
沖電気工業株式会社	株式会社ダイフク
オムロン株式会社	株式会社大丸松坂屋百貨店
オリンパス株式会社	大和ハウス工業株式会社
花王株式会社	株式会社タムロン
川崎汽船株式会社	公益財団法人 地球環境戦略研究機関
川崎重工業株式会社	千代田化工建設株式会社
キッコーマン株式会社	DIC 株式会社
極東開発工業株式会社	DNVGL ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社
キリンホールディングス株式会社	帝人株式会社
株式会社クレアン	帝人フロンティア株式会社
グローリー株式会社	テルモ株式会社
学校法人国際学院	一般財団法人電気安全環境研究所
国際石油開発帝石株式会社	東急株式会社
コスモエネルギーホールディングス株式会社	東急不動産ホールディングス株式会社
コニカミノルタ株式会社	東京ガス株式会社
コマニー株式会社	TOTO 株式会社
一般社団法人ザ・グローバル・アライアンス・フォー・サステイナブル・サプライチェーン	DOWAホールディングス株式会社
サッポロホールディングス株式会社	DOWA マネジメントサービス株式会社 (DOWA HD)
サントリーホールディングス株式会社	イー・アンド・イー ソリューションズ株式会社 (DOWA HD)
JXTGホールディングス株式会社	凸版印刷株式会社
GXS 株式会社	中日本高速道路株式会社

ナブテスコ株式会社  
株式会社ニコン  
株式会社日経ビーピーコンサルティング  
日産化学株式会社  
日清オイリオグループ株式会社  
日総工産株式会社  
日本ガイシ株式会社  
日本工営株式会社  
株式会社日本航空  
日本写真印刷株式会社  
一般財団法人日本食品分析センター  
日本電気株式会社  
一般財団法人日本品質保証機構  
日本郵船株式会社  
日本ユニシス株式会社  
野村證券株式会社  
株式会社ノーリツ  
BSIグループジャパン株式会社  
株式会社日立製作所  
ファイバーフロンティア株式会社  
フォスター電機株式会社  
株式会社フジクラ  
富士ゼロックス株式会社  
富士通株式会社  
株式会社プリプレス・センター  
丸紅株式会社  
三井化学株式会社  
三井物産株式会社  
株式会社三菱ケミカルホールディングス  
三菱自動車工業株式会社  
三菱重工業株式会社  
三菱商事株式会社  
株式会社三菱総合研究所  
株式会社三菱UFJフィナンシャルグループ  
みらかホールディングス株式会社  
明治ホールディングス株式会社  
ヤマトホールディングス株式会社  
ヤマハ株式会社  
ヤマハ発動機株式会社  
ユニー・ファミリーマートホールディングス株式会社  
ユニ・チャーム株式会社

ライオン株式会社  
株式会社LIXILグループ  
株式会社リコー  
株式会社りそなホールディングス  
株式会社良品計画

以上、122社

#### <免責事項>

本書は、GCNJで作成したCSR調達の啓発を目的とした発行物です。法律の許す範囲で、GCNJおよびそのメンバー、従業員、および代理人は、本書の内容に依拠した行為や不作為によるいかなる結果にも、本書の内容に基づいたいかなる決定についても、一切の損害賠償責任、応答責任、注意義務を受諾するものではありません。

#### <注意事項>

GCNJ加盟企業に問わずご利用いただけるものとしており、ご利用に際してGCNJやそのメンバーに対する特段の断りは不要です。各組織・企業の責任の下でご利用いただき、営利目的での使用、無断転載、販売等はお断りします。

持続可能な世界実現のためのお役立ちシリーズ  
**CSR調達研修用ツール・セット(講義&ゲーム)**

---

発行日 : 2020年1月30日 第1版

---

一般社団法人 グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン

著者 : サプライチェーン分科会

発行 : グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン事務局

---

表紙・裏表紙 富士ゼロックスシステムサービス株式会社

デザイン : コンテンツソリューションセンター

お問合せ先 : 一般社団法人 グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン

E-mail : [gcjnoffice@ungcjin.net](mailto:gcjnoffice@ungcjin.net) URL : <http://www.ungcjin.org>

その他 : 禁転載 非売品

---

「CSR調達研修用ツール・セット(講義&ゲーム)」に関するお問い合わせは

---

**一般社団法人 グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン**

E-mail : [gcjnoffice@ungcjin.net](mailto:gcjnoffice@ungcjin.net) URL : <http://www.ungcjin.org>

---